

## 平成30年度卓越大学院プログラム審査結果

機関名	東京大学		
プログラム名称	生命科学技術 国際卓越大学院プログラム		
プログラム責任者	宮園 浩平	プログラムコーディネーター	吉川 雅英

### 〔採択理由〕

本プログラムは、「ヒトの健康に寄与する人材」の育成という現代社会における重要課題にフォーカスした、医学、工学、理学、薬学の融合型プログラムである。研究能力、異分野融合研究の推進能力、社会実装能力の育成、そして専門性の高い学内の国際研究組織「ニューロインテリジェンス国際研究機構（IRCN）」の設置など国際化に関する教育体制を高いレベルで一つのプログラムに集約している点は、卓越大学院としての優位性が高いと言える。特に、それぞれの領域においてグローバルトップクラスであり、かつ融合研究を先導してきた教員を配置しており、新たに導入する「融合研究の実践トレーニング」を行うための体制が整っていることから実効性も評価できる。

これまでの21世紀COEプログラム、グローバルCOEプログラム、博士課程教育リーダーシッププログラム等の実績を生かしながら、より高度なレベルでの人材育成を目指し教育プログラムを構築しており、学長のリーダーシップの下、既にWINGS構想を開始し基盤財源の充実のための方策を進めるなど、本プログラムの実現に向けたマネジメント体制も優れていることから、実現可能性や継続性・発展性についても高いものと評価する。新産業創出としてベンチャー育成の観点が見込まれている点にも期待し、着実な計画実施を望みたい。

高度な「知のプロフェッショナル」の育成を具体化するためには、プログラムとして設定する「検証可能かつ明確な目標」について、更なる検討とより高い目標設定が求められる。

なお、高度なプログラム内容であることから、学生へのサポートシステムの強化が求められる。また、若手研究者の支援やキャリアパスの明示をより一層充実する必要があるだろう。